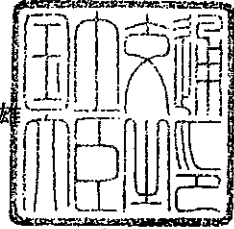


# 認定書

国住指第1765号  
平成 17年 10月 25日

田島ルーフィング株式会社  
代表取締役社長 田島 国雄 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第63条並びに同法施行令第136条の2の2第一号及び第二号(防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根)の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
DR-0249
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
ウレタン樹脂系防水材・改質アスファルト系ルーフィング・合板・ポリスチレンフォーム・合板表張／木製下地屋根
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

ウレタン樹脂系防水材・改質アスファルト系ルーフィング・合板・ポリスチレンフォーム・合板  
表張/木製下地屋根

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	塗膜防水材葺き屋根形状
支持部材の間隔	455mm以下
支持部材の傾斜角度	0° 以上30° 以下

3. 申請仕様の主構成材料

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
ウレタン樹脂系防水材	<p>厚さ0.94~3.20mm、固形量1.03~3.69kg/m<sup>2</sup></p> <p>1) アクリルウレタン樹脂系塗料 (上塗): 厚さ0.04~0.20mm、固形量0.05~0.25kg/m<sup>2</sup> ポリイソシアネート: 質量0.01~0.06kg/m<sup>2</sup> (20 (±5) 質量%) 硬化剤: 質量0.04~0.19kg/m<sup>2</sup> (80 (±5) 質量%)  <ul style="list-style-type: none"> <li>アクリル樹脂 75 (±5) 質量%</li> <li>無機質系顔料 25 (±5) 質量%</li> </ul> </p> <p>2) ウレタン層: 厚さ0.9~3.0mm、固形量0.98~3.44kg/m<sup>2</sup> ポリイソシアネート: 質量0.49~1.72kg/m<sup>2</sup> (50.0 (±1.0) 質量%) 硬化剤: 質量0.49~1.72 : kg/m<sup>2</sup> (50.0 (±1.0) 質量%)  <ul style="list-style-type: none"> <li>ポリアミン 5 (±1) 質量%</li> <li>無機質系顔料 65 (±11) 質量%</li> <li>エステル系可塑剤 30 (±10) 質量%</li> </ul> </p>
改質アスファルト系ルーフィング	<p>以下の①~④のうちのいずれかの仕様とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①上層及び下層</li> <li>②上層のみ</li> <li>③下層のみ</li> <li>④改質アスファルト系ルーフィングを施工しない</li> </ul>

## つづき

改質アスファルト系ルーフィング	<p>1) 上層：  厚さ0.6～1.6mm、質量0.90～2.05kg/m<sup>2</sup>  PETフィルム：質量0.015kg/m<sup>2</sup>  ガラス繊維・PET繊維不織布：質量0.13kg/m<sup>2</sup>  （ガラス繊維0.004kg/m<sup>2</sup>含む）  炭酸カルシウム混入改質アスファルト：質量0.75～1.90kg/m<sup>2</sup>  （アスファルト 90（±2）質量％  炭酸カルシウム 10（±2）質量％</p> <p>2) 下層：  厚さ0.4～1.7mm、質量0.45～2.10kg/m<sup>2</sup>  PETフィルム：質量0.015kg/m<sup>2</sup>  ガラス繊維・PET繊維不織布：質量0.13kg/m<sup>2</sup>  （ガラス繊維0.004kg/m<sup>2</sup>含む）  炭酸カルシウム混入改質アスファルト：質量0.30～1.95kg/m<sup>2</sup>  （アスファルト 75（±5）質量％  炭酸カルシウム 25（±5）質量％</p>
プライマー	ウレタン系樹脂： 固形量0.07kg/m <sup>2</sup>
合板	普通合板（JAS）、構造用合板（JAS）： 厚さ5.5～15mm
ポリスチレンフォーム	押出法ポリスチレンフォーム保温板（JIS A 9511、1種b）： 厚さ150mm以下、密度30kg/m <sup>3</sup> 表面の傾斜角度0°以上、30°以下
下地	<p>以下の1) または2) の仕様とする。</p> <p>1) 木製下地  野地板（合板）：  普通合板（JAS）、構造用合板（JAS）、木質系セメント板*（JIS A 5404）：  厚さ9mm以上  * 木質系セメント板は準不燃材料に限る  支持部材（たる木）：  一般製材（JAS）：  大きさ：幅30mm以上×高さ40mm以上  設置間隔455mm以下</p> <p>2) コンクリート製下地  鉄筋コンクリート、ALC（JIS A 5416）：厚さ50mm以上</p> <p>・下地の傾斜角度0°以上、30°以下</p>

4. 申請仕様の副構成材料

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

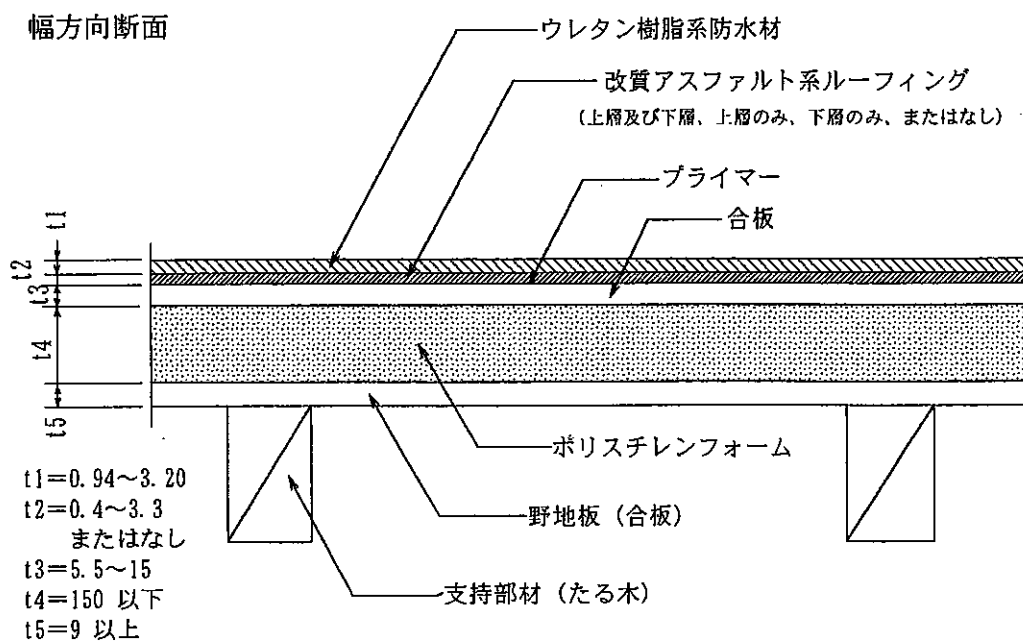
表3 申請仕様の副構成材料

項 目	申 請 仕 様
ジョイントテープ	<p>以下の1)及び2)の仕様とする。</p> <p>1) 改質アスファルト系ルーフィング（上層）目地用：            ガラス繊維テープ：厚さ0.2mm、幅100mm以下、質量0.07kg/m<sup>2</sup>            （ガラス繊維 0.05kg/m<sup>2</sup>            アクリル系粘着材 0.02kg/m<sup>2</sup>）</p> <p>2) 改質アスファルト系ルーフィング（下層）目地用：            PETテープ：厚さ0.2mm、幅100mm以下、質量0.19kg/m<sup>2</sup>            （PETフィルム 0.13kg/m<sup>2</sup>            アクリル系粘着材 0.06kg/m<sup>2</sup>）</p>
ウレタンシール	<p>ウレタン系樹脂：            固形量11～50g/m（改質アスファルト系ルーフィング（上層）の目地長さ当り）</p>
目地テープ	<p>ポリエチレン・改質アスファルト系粘着テープ：            厚さ0.60mm以下、幅50mm以下、質量30g/m以下</p>
ねじ	<p>鋼製ねじ：            以下の1)または2)の仕様とする。</p> <p>1) ステンレス鋼製ねじ：長さ38～200mm、直径3.8mm以上</p> <p>2) 亜鉛めっき鋼製ねじ：長さ38～200mm、直径3.8mm以上</p>

5. 構造説明図

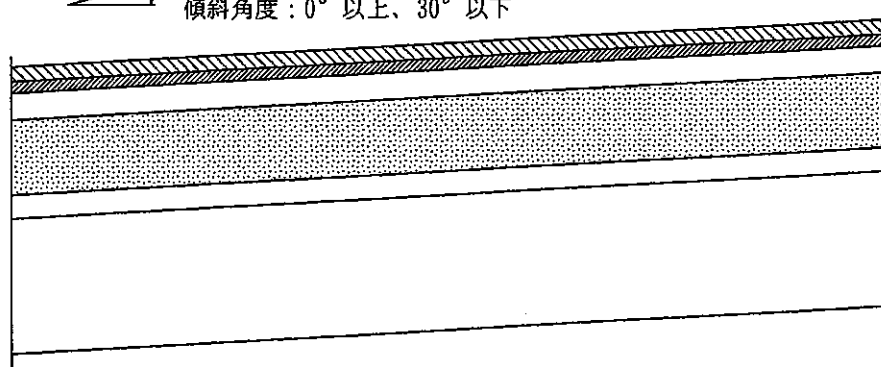
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm



傾斜方向断面 (支持部材に傾斜角度がある場合)

ポリスチレンフォーム表面の  
傾斜角度: 0° 以上、30° 以下



※支持部材の傾斜角度: 0° 以上、30° 以下

傾斜方向断面 (支持部材に傾斜角度がない場合)

ポリスチレンフォーム表面の  
傾斜角度: 0° 以上、30° 以下

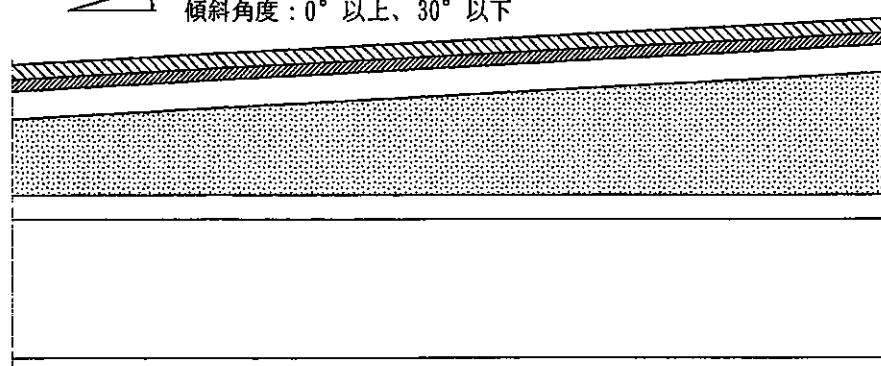
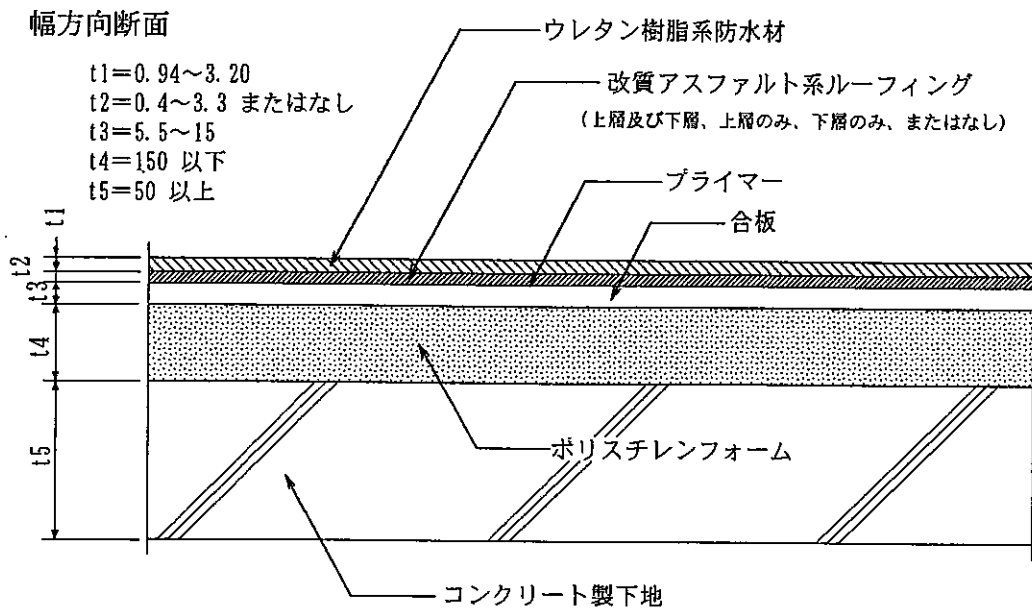
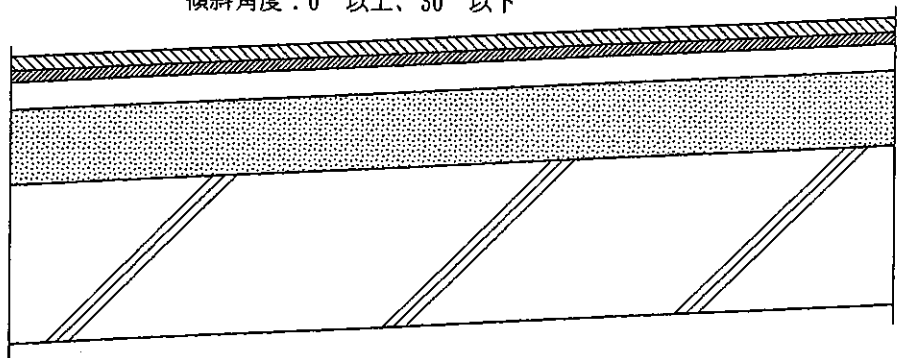


図1 構造説明図 (木製下地の場合)



傾斜方向断面 (支持部材に傾斜角度がある場合)

ポリスチレンフォーム表面の  
傾斜角度:  $0^\circ$  以上、 $30^\circ$  以下



※支持部材の傾斜角度:  $0^\circ$  以上、 $30^\circ$  以下

傾斜方向断面 (支持部材に傾斜角度がない場合)

ポリスチレンフォーム表面の  
傾斜角度:  $0^\circ$  以上、 $30^\circ$  以下

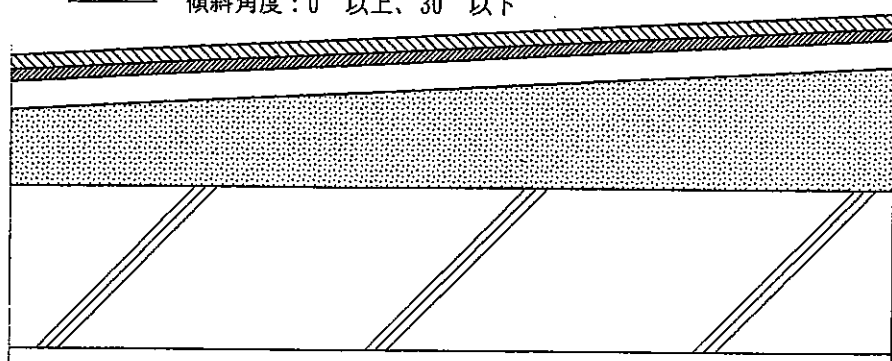


図2 構造説明図 (コンクリート製下地の場合)

## 6. 施工方法

申請仕様の施工図を図3～図5に示す。  
施工は以下の手順で行う。

### 1) 下地

- ・下地の傾斜角度は $0^{\circ}$ 以上、 $30^{\circ}$ 以下とする。
- ・支持部材（たる木）を使用する場合は、幅 $30\times$ 高さ $40\text{mm}$ の断面以上のものとする。たわみが生じないように、たる木間隔は $455\text{mm}$ 以内とする。
- ・野地板を使用する場合は、厚さ $9\text{mm}$ 以上の合板または木質系セメント板を用いる。
- ・下地の上に厚さ $150\text{mm}$ 以下のポリスチレンフォームを敷き込み、更に厚さ $5.5\sim 15\text{mm}$ の合板をねじにて固定する。
- ・合板上面の傾斜角度は $0^{\circ}$ 以上、 $30^{\circ}$ 以下とする。
- ・目地あき、目違いは平滑な状態に修正する。
- ・十分に乾燥する。
- ・防水の重要度、耐久性設定に応じて、合板目地部に目地テープを使用する。

### 2) 防水材の施工

#### ①プライマー塗布

合板にプライマーを塗布、硬化させる。（固形量 $0.07\text{kg}/\text{m}^2$ ）

#### ②改質アスファルト系ルーフィングの施工

改質アスファルト系ルーフィングを剥離紙を剥がしながら貼り付ける。

ルーフィング施工後に、ルーフィング相互のジョイント部には、ジョイントテープを貼り付ける。

下層は突きつけとし、上層は重ね幅を $100\text{mm}$ とする。

防水の重要度、耐久性設定に応じて、上層及び下層、または上層のみ・下層のみ、あるいは「なし」とする。

#### ③ウレタン層の施工

ウレタン樹脂（ポリイソシアネートと硬化剤の混合物）を塗布し、硬化させる。  
（固形量： $0.98\sim 3.44\text{kg}/\text{m}^2$ ）

#### ④アクリルウレタン樹脂系塗料の施工

アクリルウレタン樹脂系塗料を塗布し、硬化させる。（固形量 $0.05\sim 0.25\text{kg}/\text{m}^2$ ）

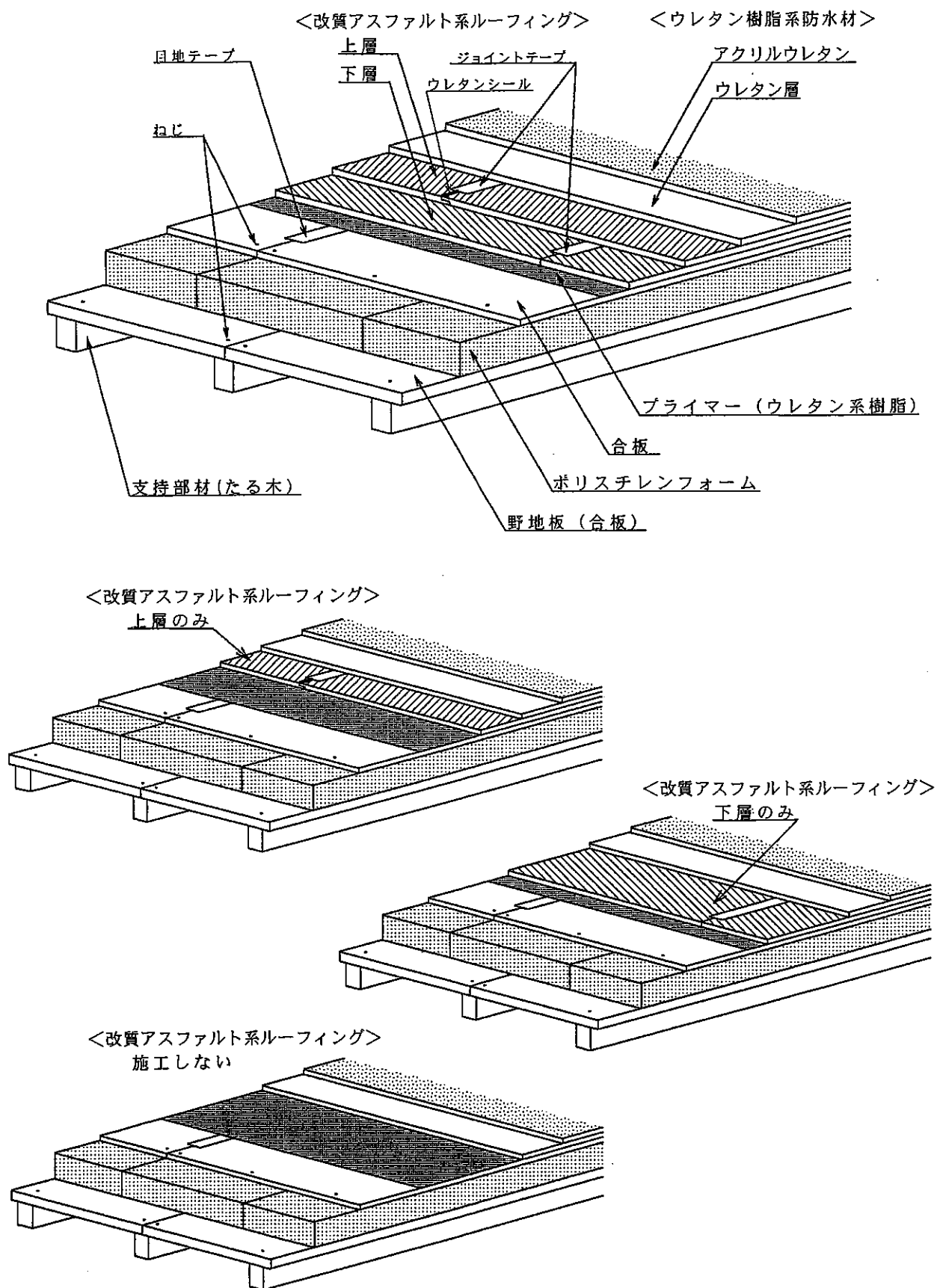


図3 施工図 (木製下地の場合)

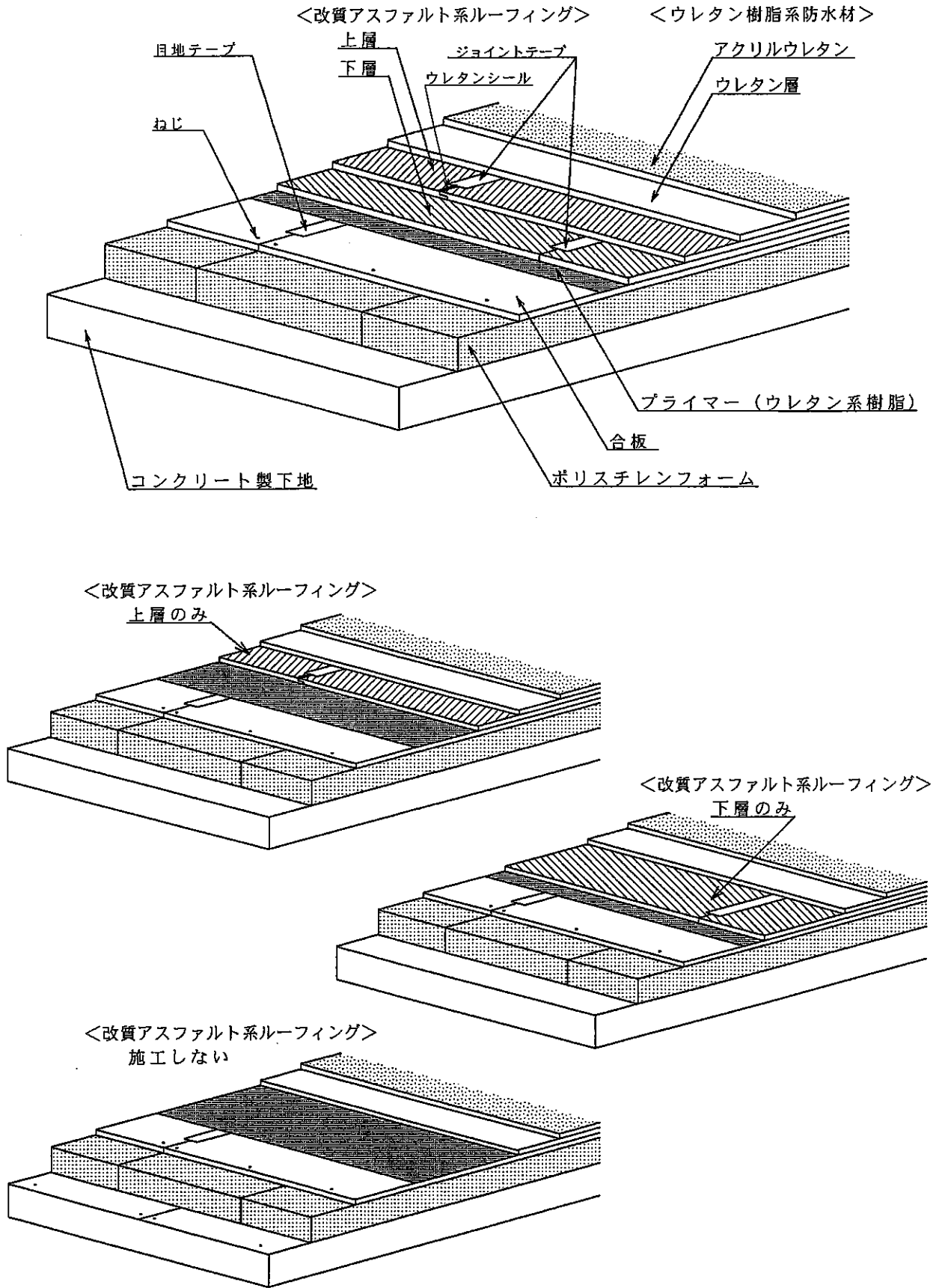


図4 施工図 (コンクリート製下地の場合)

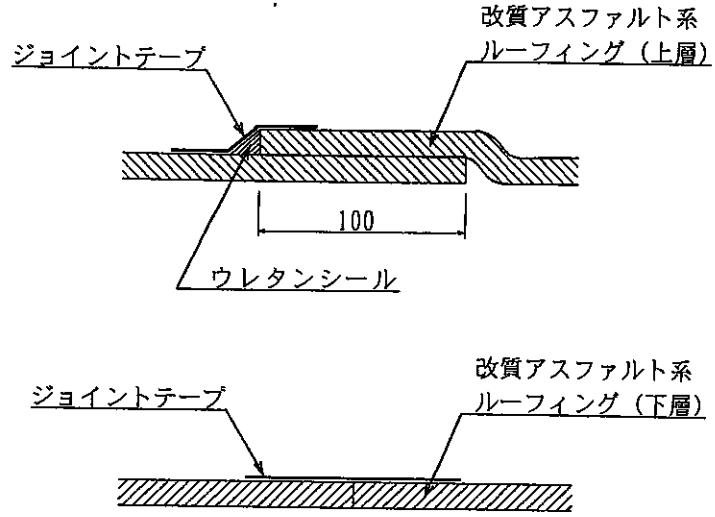


図5 改質アスファルトルーフィング目地部の断面